福祉委員活動実績集計結果報告

〇福祉委員活動調査の概要

1.調査目的

福祉委員の活動について把握し、今後の活動に生かすために実施しました。

2.調査概要

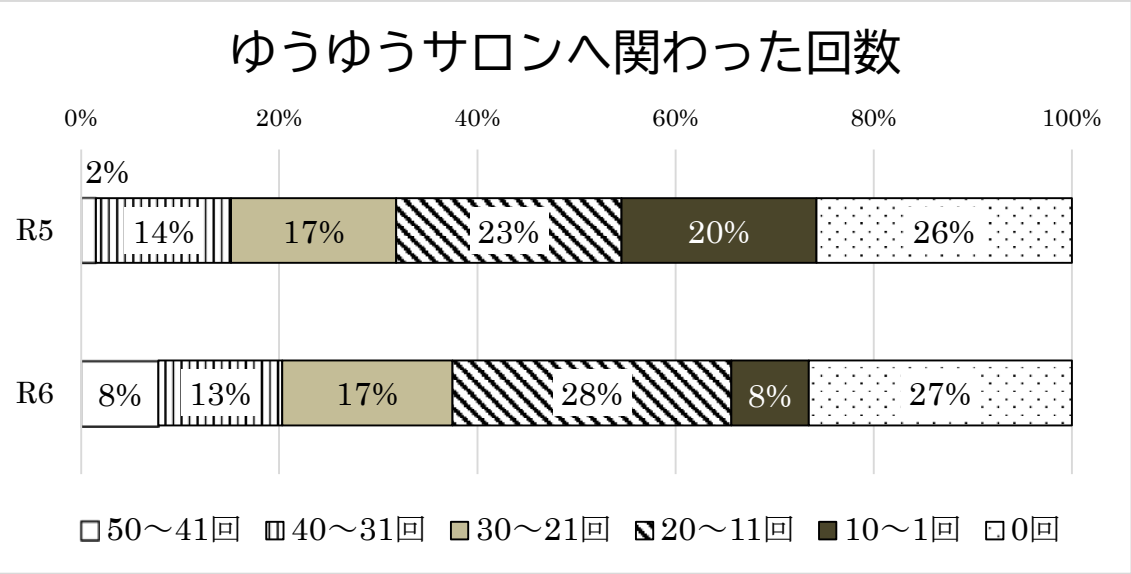
・調査対象者：令和6年度の福祉委員66名
・調査期間：令和7年4月～7月
・調査方法：郵送配布、回収は郵送及び来館

3.回収結果

・回収率：97.0%(8月1日現在)

4.報告書の見方

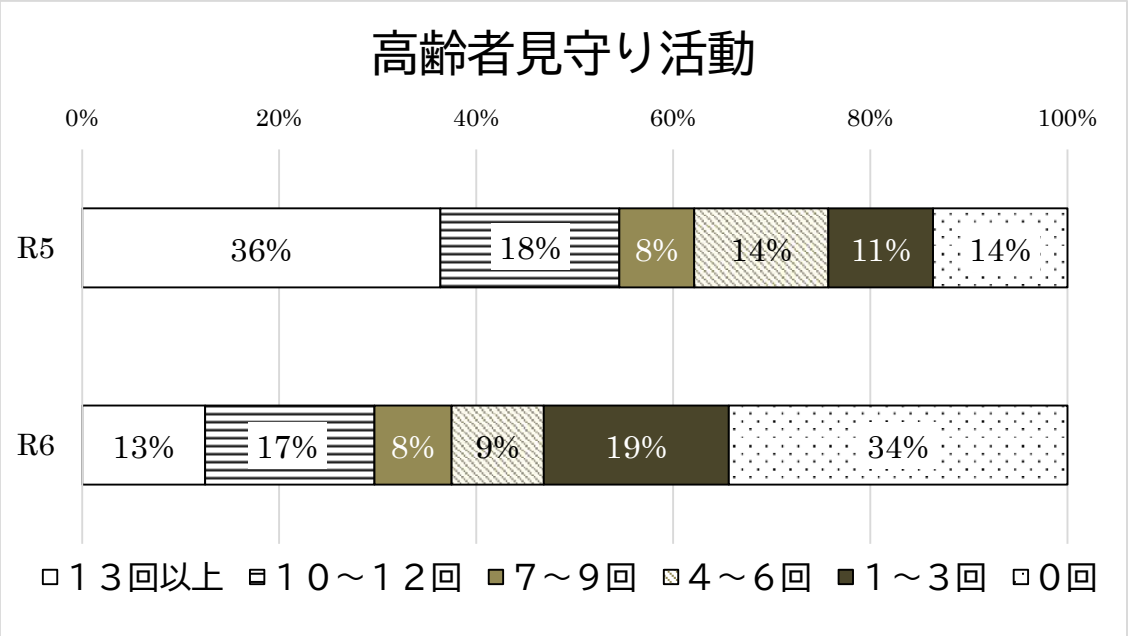
・集計の対比に関しましては、令和5年と令和6年度となっております。
・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第１位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。



ゆうゆうサロンについては、関わったと回答された方は 74%で、R5 年度とほぼ変化なく、引き続き多くの方々に関わっていただいていることが分かります。

「7・8 月は猛暑で熱中症が心配されたが、皆さんが楽しみにしており、来たいとのことで続けた」「運動会、皆さん童心にかえったみたいに凄く盛り上がり、生き生きとしてある姿を見て、自分もホッコリした気持ちで嬉しくて、企画して良かった」と、参加者の皆さまが楽しめるように運営されていることがうかがえます。天候によって開催を心配される日もあるようですが、参加者の皆さまとボランティアの皆さまの無理のない範囲で運営をお願いいたします。

「参加者は入院などで少なくなりつつある」「いろいろな活動に誘っても参加してもらえない」との声もあり、参加者の減少について悩まれているようです。

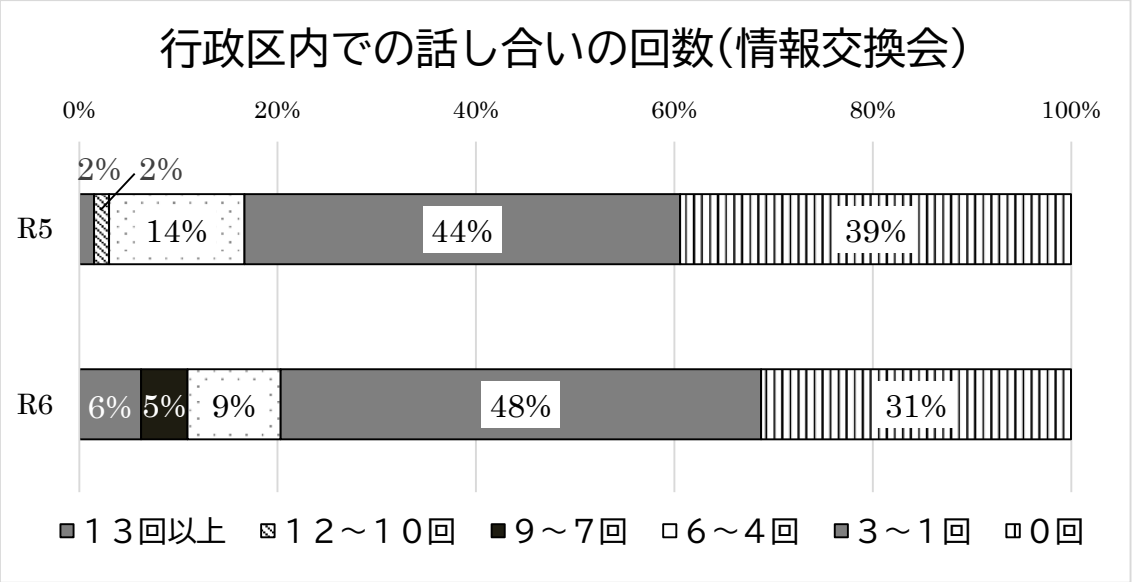


高齢者見守り活動については、活動したと回答した方が 66%で、令和 5 年度の 87%に比べ減少していることが分かります。

「たよりあいを持参し、見守り活動に行くと回を重ねるごとに親しくなり、笑顔で迎えてくださり嬉しく感じる」と訪問活動で「たよりあい」を活用していただいているようです。

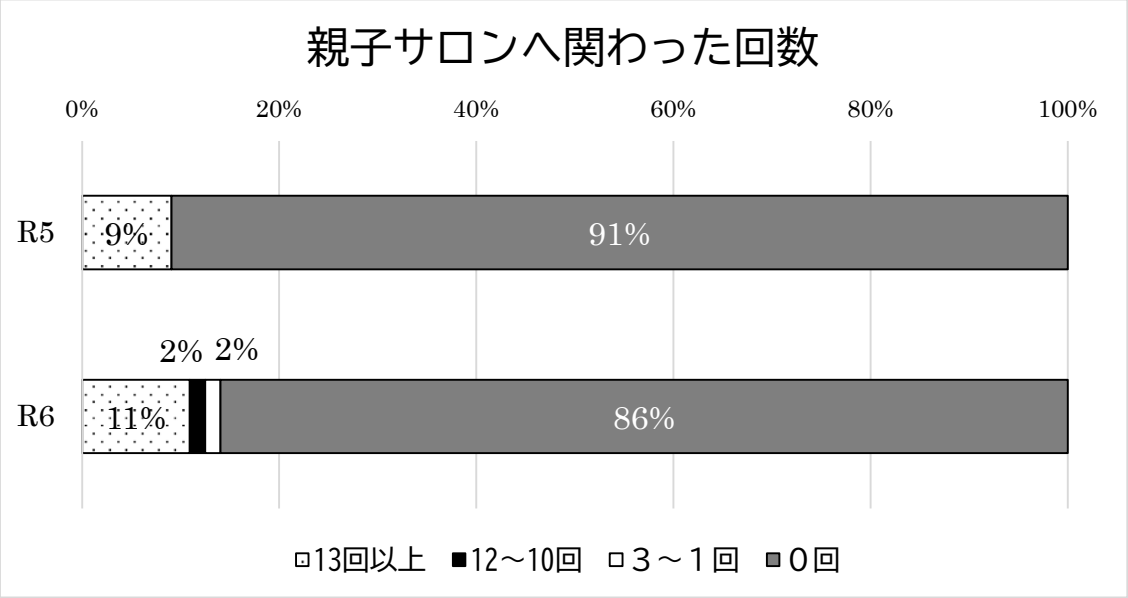
「庭の木々や入口の草などを見て、元気なのか心配」「たよりあいを配るとき、チャイムを鳴らしても出てこられないとき、家の中で倒れてあるかもといろいろ心配する」と、ながら見守りや訪問時に対象者の安否が確認できずに心配されているようです。

活動の中で心配される対象者の方がいましたら、民生委員さんと連携を図り、気がついたことやご相談については、お気軽に粕屋町社会福祉協議会（℡.938-6844）へご連絡ください。



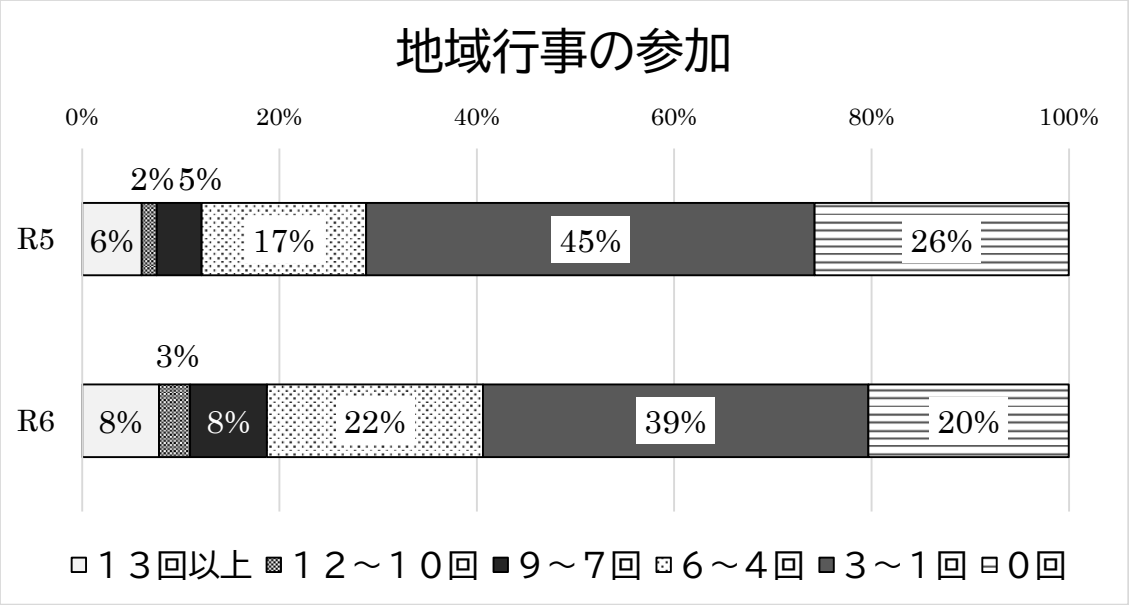
行政区内での話し合いの回数について、参加していると回答された方は 68%と R5 年度に比べやや増加しています。

「役員紹介の総会」「情報・意見交換会」「福祉委員交流会」等に参加されているようです。



親子サロンについては、関わったと回答した方は 15%と R5 年度に比べやや増加していることが分かります。

「3～4 歳の子どもは足が速く、ドアを開けて部屋を出ようとするため、目配りをしている」と、安全なサロン運営のために引き続き見守り活動をお願いいたします。



地域行事の参加について、令和 6 年度は 80%の方が参加されており、令和 5 年度と比べやや増加しています。

内容は、「七夕会」「夏祭り」「敬老会」「運動会」「餅つき大会」「防災組織発足会」等です。

「花見会やバーベキュー会など、外で楽しくふれあう会を多く企画したい」「文化祭の企画のために、昔の作品などを掘り起こしする。高齢者を元気にしたい」と、参加者の皆さんに楽しんでもらえるよう考えられているようです。

「行事の参加を通じて、高齢者の方に日頃の生活等の問題や不安がないか、会話をするよう心がけている」との声もあり、行事の中でも見守りや関わりの場になっていることがうかがえます。

活動中に福祉委員さん自身が体調を崩し、活動できなかったとの声が多くありました。体調に留意しながら、活動される方々が無理のない範囲で継続した活動をお願いいたします。

「2 年間で地域の方の顔がわかるようになり、声をかけられるようになった」との声がありました。

現在の福祉委員さんの任期は今年度(令和 7 年度)までとなっております。これまでの活動に感謝いたしますとともに、今後ともご協力をいただきますようお願いいたします。